

第3回文化部活動の地域移行検討会議

休日の文化部活動の 段階的な地域移行に向けた取組

兵庫県教育委員会

本日の内容

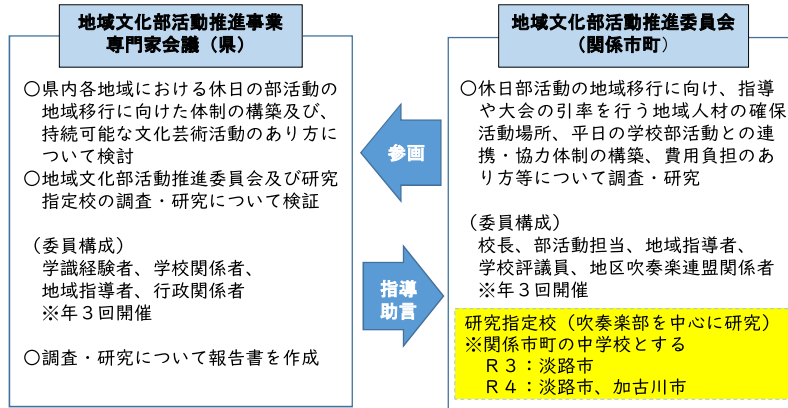
- 1 地域文化部活動推進事業の概要
- 2 子どもたちを取り巻く背景
- 3 地域移行を推進するための7つの視点
- 4 運動部との連携
- 5 取組から見えてきたこと
- 6 今後、取り組むべきこと

地域文化部活動推進事業の概要

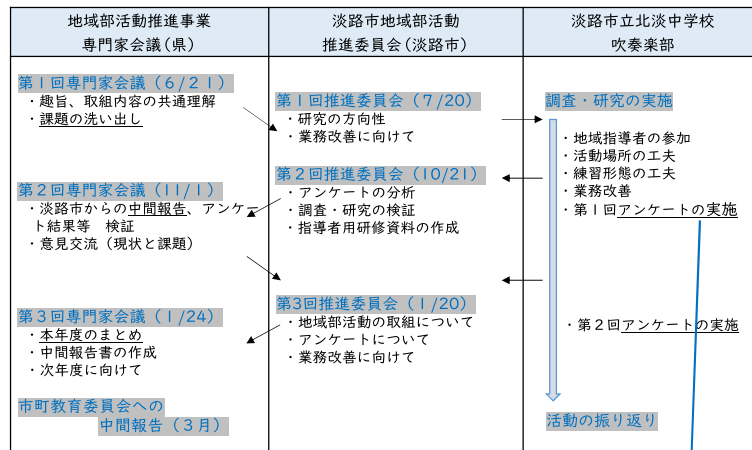
1 趣旨

- 令和5年度以降に休日の文化部活動の段階的な地域移行を目指す。
 - 生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実施
 - 学校における働き方改革の実現

2 研究体制



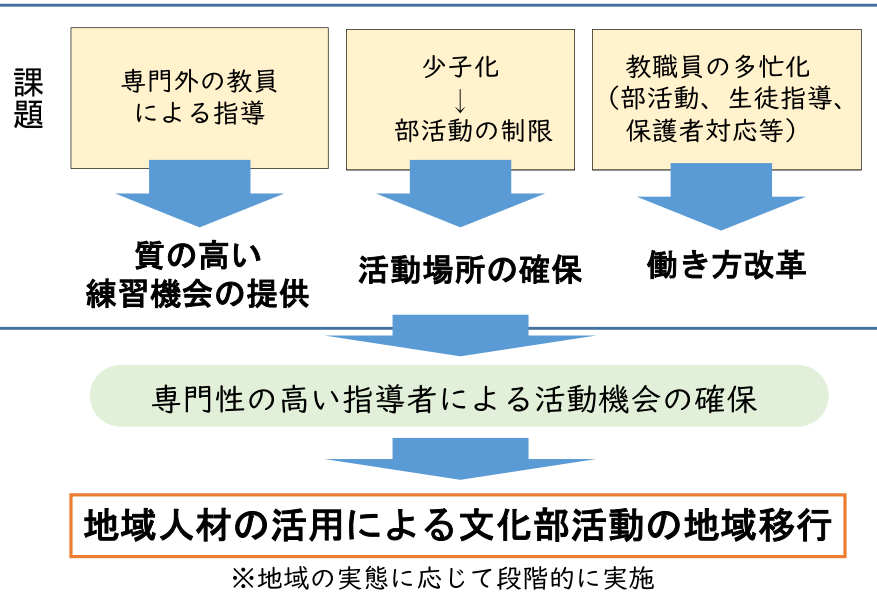
研究の進め方



アンケート内容（一部抜粋）

- （生 徒）地域指導者に指導してもらうことで、どのような楽しみがありますか。
- （生 徒）地域指導者に教えてもらう場合、どのようなことに不安を感じますか。
- （保護者）指導にかかる費用を負担しても、地域指導者に指導してもらいたいですか。
- （教 員）地域指導者に指導してもらうことで、どのような効果があると思いますか。

子どもたちを取り巻く背景（委員の意見より）



地域移行を推進するための7つの視点

- 視点1 教員の働き方改革（業務改善・意識改革）
- 視点2 地域指導者の確保
- 視点3 活動場所の確保
- 視点4 教員（顧問）以外による大会等への引率
- 視点5 教員（顧問）と地域指導者等の連携
- 視点6 地域指導者等への研修の実施
- 視点7 費用負担のあり方

視点1 教員の働き方改革 (業務改善・意識改革)

【地域指導者の効果】

1 部活指導に関する業務の削減

- ・拠点校では、平日、休日とも、一定時間は業務軽減
- ・練習時間以外に必要な業務量の軽減
(練習計画の作成、譜面の準備、楽器の修理 等)

2 心理的な負担の軽減

- ・事前の準備を地域指導者に依頼
→ 心理的な負担の軽減
- ・専門性のある地域指導者の指導
→ 安心感につながる



【課題】

部活動に関わりたい教員、関わることができない教員をどうしていくか。

視点2 地域指導者の確保①

<方策1>全体指導と部分指導に分けて、地域人材を活用

〔淡路市立北淡中学校の取組〕

- ・3名の地域指導者の活用
→関係者の人間関係を通じて依頼
- ・淡路市地域人材バンクの活用
- ・淡路吹奏楽連盟との連携(情報提供)
- ・顧問経験者が全体指導、楽器経験者やプロ演奏家が部分指導を担当

教員OB	教員OB	プロ演奏家
音楽指導 指揮 楽器修繕	音楽指導 専門 (クラリネット)	音楽指導 専門 (打楽器)



【吹奏楽部の生徒アンケート調査】(淡路市立北淡中学校22名)

「地域指導者に指導してもらうことで、どのような楽しみがありますか。」



【課題】

指導経験が豊かで、かつ教育的立場で指導できる人材に任せたい
→ そのような人材を見つけるのは難しい。

視点2 地域指導者の確保②

<方策2>ICTを活用した合同練習

【課題】

地域指導者が見つからない
指導者の練習の時間帯が合わない



ICTを活用した合同練習



ICTの効果的な活用は、質の高い練習の確保に繋がる

視点3 活動場所の確保 (学校開放の場合の管理等)

【課題】

地元にホールや公民館等がない
楽器の移動が大変である



学校開放が取り組みやすい

〔淡路市立北淡中学校〕

- 活動場所：淡路市立北淡中学校 音楽室、教室
- 鍵の管理：休日の鍵の管理は顧問が担当
 - ※地域指導者が自ら地域バンドを立ち上げ、活動場所となる地域の受け皿づくりに取り組んでいる。

〔赤穂市ジュニアバンド〕

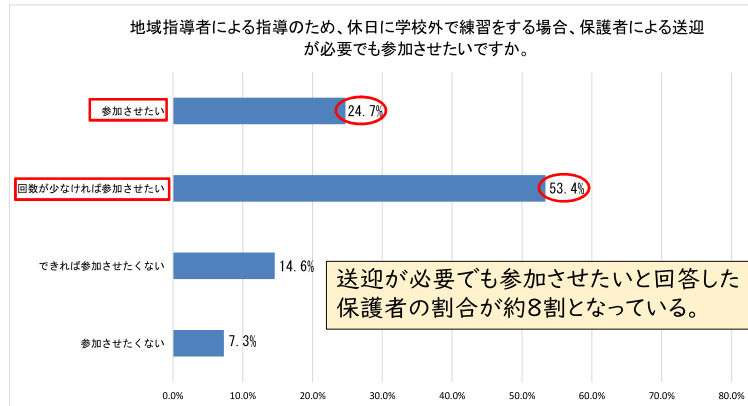
- 生徒の減少や指導者不足等により、学校での指導が困難となった時の受け皿として「赤穂市ジュニアバンド」を結成
- 活動場所：赤穂市立赤穂小学校 音楽室
- 鍵の管理：指導者が学校とジュニアバンド専用の警備保障の鍵を持っている。（ジュニアバンド使用の教室のみ警備保障）

※代行員に休日の鍵の管理を依頼している学校もある。〔川西市〕

視点4 教員（顧問）以外の大会等への引率

【吹奏楽部の保護者アンケート調査】

保護者の意識調査（対象：淡路市、川西市、明石市、豊岡市の吹奏楽部の保護者 183人）



【課題】

事故が起きた場合の対応 → 日本スポーツ振興センター等の保険は適用外

視点5 教員（顧問）と地域指導者等の連携

【淡路市立北淡中学校の取組】

- 連絡シートを作成
 <内容>・出席状況 ・活動状況 ・生徒指導 等
- ICTの活用も可能
- 平日も一緒に時間があるため、
 連携はスムーズに行えている。

北淡中学校吹奏部 連絡シート			
活動日	月	日	時刻
出席状況 (出席者名)	出席状況		
活動状況 (楽器別、個人別)	平日の練習生を複数回（10～15分）・個人指導、記入。		
その他	引継事項、特記事項		

【吹奏楽部指導者のアンケート調査】

（吹奏楽部顧問11名 複数回答可）

「地域指導者が単独で指導する場合、どのようなことに課題を感じますか。」

- ①「部員同士のトラブルなどがあったときの対応」…………… 81.8%
- ②「生徒が心配なことや悩みを、気軽に相談できるか」…………… 63.6%
- ②「事故やけがが起きた時の適切な対応」…………… 63.6%
- ④「内容や教え方を揃えられるか」…………… 36.4%
- ④「大会へ参加する場合の引率」…………… 36.4%

視点6 地域指導者等への研修の実施①

【指導者の育成に向けた取組】

〔明石市吹奏楽連盟〕

- 専門家による合同練習会を開催
- 対象：市内の中学校（吹奏楽部生徒）
- 指導者：中・高等学校吹奏楽部出身者
音楽大学器楽科を卒業されている方 等
- 回数：年間に4回程度



【効果等】

経験が少ない指導者 → 指導方法を学ぶ貴重な機会

〔淡路市立北淡中学校〕

- 地域指導者による地域バンドの結成
 - バンドの仲間に指導者としてのノウハウを伝え、協力を依頼
 - 参加した生徒が、将来的には地域の指導者として活躍することを期待（地域の中で人材を育む）

地域の中で指導者（人材）を育むという視点が大切

視点6 地域指導者等への研修の実施②

【指導の充実にに向けた取組】

〔兵庫県教育委員会〕

- 「文化部活動の在り方に関する方針」
(H31.3月)
- 「ノー部活デー」の継続した取組



文化部活動の在り方に関する方針

〔淡路市教育委員会〕

- 研修用動画を作成
- 動画と対面での研修を組み合わせる
- タブレット端末等を活用
 - 個別研修の実施も可能
- 内容
 - ・ 地域指導者の服務
 - ・ 指導に求められる事項 等



部活動指導者 研修用動画

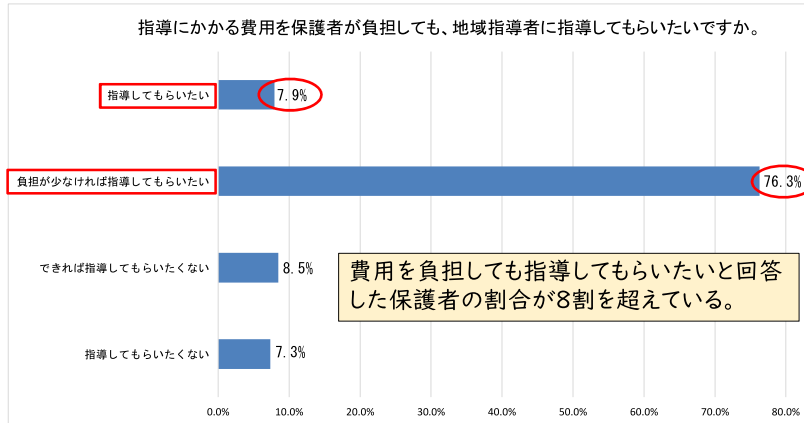
視点7 費用負担のあり方

【課題】

- ・地域移行になると、謝金、施設使用料、保険料等が必要
- ・受益者負担の場合、部活動をしたい生徒ができない状況が生まれる可能性がある

【吹奏楽部の保護者アンケート調査】

保護者の意識調査(対象:淡路市、川西市、明石市、豊岡市の保護者 183人)



運動部との連携

国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の方針を踏まえ、令和5年度から休日の部活動の段階的な地域移行を円滑に行うため、拠点校を指定し、実践研究を行う。

1 研究指定校（2市町）

西宮市 西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校

〔実施運動部〕陸上競技部 サッカー部 卓球部 バトミントン部
女子バスケットボール部

播磨町 播磨町立播磨中学校 播磨町立播磨南中学校

〔実施運動部〕剣道部 卓球部 サッカー部

2 運動部活動専門家会議の開催（年3回） ※県文化担当も参加

内 容 指導を担う地域人材の確保、運営団体の確保、費用負担の在り方検討 等

3 実践報告会の開催（年1回）

内 容 拠点校での実践発表

4 市町説明会の開催（県内5地域）

取組から見えてきたこと

- ①これまでの取組を生かす
 - ・人材バンクの活用や部活動指導員を有効活用する。
 - ・学校施設を開放する場合は代行員や地域ボランティアの方に鍵の管理等を依頼する。等
- ②吹奏楽部の練習形態を全体指導と部分指導に分ける
 - ・全体指導は教員（顧問）が実施し、部分（パート）指導は、地域指導者に依頼する。
 - ・部分（パート）指導であれば、1つの楽器の経験があれば指導できるため、人材も確保しやすい。
- ③視点ごとに具体的な取組事例を示す
 - ・学校や地域の実情に応じて、できることから取り組みを進めて行くことができる。

今後、取り組むべきこと

- ①地域の実情に応じた幅広い具体例の提示
- ②各市町及び各学校への地域移行に関する周知
- ③保護者や地域の理解を得るための周知の工夫
- ④人材バンクや指導者ネットワークの構築
- ⑤吹奏楽連盟等との連携を図りつつ、大会参加等への検証
- ⑥国の動向を踏まえた上での予算確保に向けた準備

